



梅雨の季節となり、はっきりしない天気の日も多くなりますが、農家にとっては恵みの雨です。この時期に養分や水分を蓄えることによって、作物が十分に生長することができます。多忙でなかなか余裕がないとは思いますが、機会あるごとに知識や情報を蓄えていきましょう。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

## 書籍紹介

### ① 「人的環境のユニバーサルデザイン」

阿部利彦 赤坂真二 川上康則 松久眞実/著  
(東洋館出版 2019年発行)

すべての子どもが安心して学び、育ち合う教室をどうつくるか。

本書は、「人」に焦点を当てた新しいユニバーサルデザインの視点から、学級・学校づくりを具体的に提案する一冊です。

ユニバーサルデザインというと、物理的環境や工夫が注目されがちですが、本書が問いかけるのは「教師の関わり」「子ども同士の関係」「集団の文化」といった人的環境。教師のまなざしや言葉かけ、学級のルールづくり、対話の積み重ねこそが、すべての子どもを包み込む土台になることを、理論と実践の両面から丁寧に解き明かします。

特別な支援を必要とする子どもだけでなく、教室にいるすべての子どもにとって居心地のよい環境を整えること。そのために何を見直し、どう行動すればよいのか。豊富な実践例と具体的なアプローチが示され、明日からの教育実践にすぐに生かせる内容となっています。

インクルーシブ教育や学級経営に関心のある教師、学校管理職、教育関係者にとって、これからの時代に求められる学びの場づくりを考えるための必読書です。

### ② 「教師の学び方」

澤井陽介/著 (東洋館出版 2021年発行)

著者は授業改善や深い学びの実現に関する多くの著書で定評のある前文科省視学官です。子どもの学びと教師の学びは相似形とよく言われますが、本書のテーマは子どもの学びを実現するための教師の学びです。「子どもの実態」「授業の本質」から教師は何をどう学び深めていけばよいのかについて、著者のこれまでの経験から示唆に富む見解が述べられています。すっきりと理論的にまとめられた本というよりは、味わい深い含蓄に富む言葉が散りばめられた、尊敬する大先輩のお話を聞いているような教育書です。すべての考察は、いかにして子どもの深い学びを実現するかにつながっていくのですが、そのためにはどのような所に着眼すればよいのか、子どもの反応や自分たちの実践をどう考えたらよいのか、教師はどう学べばよいのか、著者の考察を辿っていただけで自分も頑張りたい、よい教師を目指したいという気にさせてくれる感化力のある本です。特に第3章の「研究を通して学びを『深める』」は、本書のテーマに直結する校内研究の在り方について述べた章ですが、校内研究のテーマの設定、校内研究組織

の編成、教職員集団のまとめ方など教えられるところが多く、現職教育担当・研究主任の方にはたいへん参考になる内容です。

### ③「学習指導要領はどう変わろうとしているのか 2030年の学習指導要領に向けた中教審『論点整理』（令和7年9月）を読み解く！」

佐藤明彦/著（東洋館出版 2025年発行）

2025年9月、中央教育審議会「論点整理」が発表されました。現行学習指導要領を施行しての現状を分析しつつ、次期学習指導要領の内容を検討するための論点を整理したものです。多様性の包摂、高次の資質・能力、調整授業時数制度、裁量的な時間、余白の創出、網羅主義からの脱却など「論点整理」で話題になっている言葉を聞いたことがあるものの実はよく知らないという方は、本書の解説が分かりやすくお勧めです。ただし、著者は教育ジャーナリストとして、現在の教育現場における諸問題を踏まえながら「論点整理」を自分の言葉で解題しており、著者個人の見解も多分に交じっておりますが、それがかえって刺激となり、読者も教育現場の現状とこれから目指すべき教育像について考え始めていることに気づくでしょう。

「論点整理」を読んでいると学習指導要領改訂の舞台裏を見る思いがして、次期学習指導要領が目指そうとしているものを読み解くことで、かえって現行の学習指導要領が目指していたものが浮彫りになってきます。著者によると次回の学習指導要領改訂は、「横並び主義」や「調和的発達主義」など明治以来の日本の教育システムの根幹をなす考え方と決別する「150年に1回」の大改訂とのこと。「そんな大げさな」ととらえるか「いや、もう変えなければ」と思ふかは、読んでから考えてみてはどうでしょう。

## 雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	6月号	<p>【特集】NG指導全書 あなたはどこで間違えたのか</p> <p>◇あの先生のNG指導体験談 読解にブレーキ？ 3つのNG 「15歳の僕」に問いかけてみる</p> <p>◇NG指導全書 授業の殻を破るカギ 心理的安全性の確保 学習意欲の喚起 発問 問いづくり 板書 指示・説明 個別最適化授業の導入・終末 音読 授業中の見取り フィードバック 話し合いの指導 書くことの指導 漢字指導</p> <p>【連載】◇世界一わかりやすい 今月の指導案図解</p>
社会科教育 (明治図書)	6月号	<p>【特集】視点や方法を身につける！見方・考え方を鍛える課題解決学習</p> <p>◇社会科・地理歴史科・公民科における「見方・考え方」と授業デザイン</p> <p>◇「多面的・多角的」に考え「公正に判断」する力を培う課題解決学習</p> <p>◇見方・考え方を育てる！視点と考察の方法 各分野の授業デザイン</p> <p>◇成功と失敗の分岐点はここだ！「よりよい社会の形成」を意識させる課題解決学習</p> <p>◇情報や自分の意見を見極める！「批判的に捉え直す力」を身につける課題解決学習</p> <p>◇視点や方法を身につける見方・考え方を鍛える課題解決学習モデル</p>

<p>新しい算数研究 (東洋館出版社)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集1】「数と計算」における核となる概念を育む数学的活動 論説 事前討論会 指導案 授業研究 研究のまとめ</p> <p>【特集2】子どもから価値のある問いを引き出す算数の授業づくり 論説 実践事例1～5 ポイント解説</p>
<p>数学教育 (明治図書)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集】問題例&amp;事例満載！全単元のテストと評価</p> <p>[1年] 正負の数 文字と式 方程式 比例と反比例 平面図形 空間図形 データの分析と活用</p> <p>[2年] 式の計算 連立方程式 一次関数 平行と合同 三角形と四角形 確率 データの比較</p> <p>[3年] 多項式 平方根 二次方程式 関数 <math>y=ax^2</math> 相似な図形 円 三平方の定理 標本調査</p> <p>【連載】◇こんなときどうする？ ペア学習・グループ学習の対応術 ◇研究校に学ぶ 新学習指導要領への布石</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の数学化を促す「出会い」と「発問」の工夫</li> <li>・ドルトン・プランに基づく数学教育の実践</li> </ul>
<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集】夏休みだからこそできる理科の学び 夏休み中の学びに対する効果的なサポート例</p> <p>(小)・「自然に親しみ」から始まる夏休みの理科の学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由研究ってこんなに楽しい！ 佐賀大学探究お助け隊による「自由研究お助け隊 2025」 他</li> </ul> <p>(中)・自由研究のテーマ設定を支える授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の近くでマイフィールド観察 「学校内の学び」から「日常生活での学び」への転換を目指して 他</li> </ul> <p>(高)・探究プログラム「サイエンスツアー」の実践</p> <p>夏休みを活用して「実物に触れ、調査する」経験として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SSH 地球科学」における探究活動支援と教材研究のサイクル</li> </ul>
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集1】コミュニケーションを支える「基礎練習」の力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ふたたび光を！音読活動の喜びと活用</li> <li>◇4つのステップで行う音読練習のすすめ</li> <li>◇YouTube 動画教材で定型表現定着を目指す</li> <li>◇教室で行うディクテーション活動の「きも」</li> <li>◇文構造を意識させる音読活動：SV Chunk Reading</li> <li>◇意味順指導で行う語順感覚の基礎固め</li> <li>◇練習と言語活動の接続に「雑談力」を育てる One Minute Chat</li> </ul> <p>【特集2】多様な生徒の特性を生かした英語指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇多様な生徒の学びを支える高校英語授業の考え方 UDL とつまずきへの配慮の視点から</li> <li>◇外国につながる子どもたちのいる教室</li> <li>◇インクルーシブな英語授業の設計と実践 多様な学習ニーズに応える教材と活動の工夫</li> </ul>
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集】道徳発問力アップ大全 有名教材発問リスト付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇授業が上手い先生の発問構想法</li> <li>◇今さら聞けない 道徳発問の基礎基本</li> </ul>

	<p>◇100の発問を考える！ 発問構想力の鍛え方</p> <p>◇発問力アップ 有名教材の発問リスト</p> <p>◇発問づくりにAIを役立てよう</p> <p>【連載】◇道德教育2030 新学習指導要領に向けての提言</p> <p>◇道德科誕生10年！これからを生きる子どもに向き合う</p> <p>◇道德授業の臨機応変力を鍛える！</p> <p>◇道德授業 4人4様 同じ教材、違う授業。そこに先生の工夫あり</p> <p>◇ローテーション道德でつくる中学校道德授業</p> <p>◇自作教材クリエイター入門 道德授業をデザインする12か月</p> <p>◇「多様性」について、知っておきたいこと・考えたいこと</p> <p>◇「子どもの姿」で語る 忘れられないあの授業</p>
<p>授業力&amp;学級経営 力 (明治図書)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集】超解説「メタ認知」ってなんだ？</p> <p>◇メタ認知は、どう芽生え、発達していく？</p> <p>◇メタ認知的知識の獲得と活用をどう支援する？</p> <p>◇メタ認知を、どう見取り、評価する？</p> <p>◇教科の学習とメタ認知 ◇自己調整学習とメタ認知</p> <p>◇効果的な学び方とメタ認知 ◇振り返りとメタ認知</p> <p>◇生成AIとメタ認知 ◇思考ツールとメタ認知</p> <p>【小特集】学級にブーストがかかる！GW明けのクラスづくり</p> <p>◇「魔の6月」も怖くない！3視点で見るGW明けの学級チェックポイント</p> <p>◇自治的なクラスづくりを目指して、GW明けから何を、どのように子どもたちに任せていくのか</p> <p>◇6月におすすめの算数あそび、体育館あそび</p>
<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>6月号</p>	<p>【特集】生徒指導を「こわい」「しんどい」で終わらせない</p> <p>◇生徒指導はなぜ嫌われるのか</p> <p>◇組織で取り組み、嫌われ役を解消する</p> <p>◇「やらされ仕事」から「やりたい仕事」へ</p> <p>◇「指導」から「支援」へ ◇生徒指導に前向きに取り組むために</p> <p>【連載】◇アサーションスキルで大切なこと</p> <p>◇地域での不登校児童生徒保護者への支援（保護者の会の取り組み）</p> <p>◇生徒指導事案リーガルナレッジ 性に関する課題・性暴力</p> <p>◇衝動性を抑えられない子どもたち</p> <p>◇教師主導の学級経営から、生徒が参画する学級経営への転換を図る</p>
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>6月号</p>	<p>【巻頭インタビュー】「身近なイラッ」を愛し抜く フリック入力発明家の「問い」の立て方・育て方／小川コータ</p> <p>【特集1】「同僚性」と育ち合う教師</p> <p>◇今、学校に求められる「同僚性」、その定義とは</p> <p>◇「同僚性」のむずかしさ</p> <p>①同調圧力が高まらないか 「同僚性」を育ち合う関係へつなぐために</p> <p>②「ぬるま湯組織」とならないか</p> <p>③寄り添う管理職は「共感疲労」に苛まれないか</p> <p>◇「いい雰囲気」の教師を育て、育む「同僚性」</p>

		<p>◇フィンランドで出会った「同僚性」という希望</p> <p>◇過干渉しない、適度な心理的距離感を ◇フェーズで見る職員室</p> <p>◇対話する「同僚性」が機能する・育ち合う職員室</p> <p>【特集2】「保護者との関係づくりガイドライン」は学校/保護者を救うか</p> <p>◇「ガイドライン」の意図は</p> <p>◇[読者アンケート] 学校と保護者の日頃の信頼づくりのために</p> <p>◇「社会通念を超える言動等」への対処法</p> <p>◇[座談会] 保護者と学校の「溝」を埋めるために</p>
初等教育資料 (東洋館出版社)	6月号	<p>【特集】改訂に向けた検討事項と、今、大切にしたい取組③ [理科、音楽、図画工作]</p> <p>◇改訂に向けた議論、方向性についての周知</p> <p>◇現行学習指導要領の更なる趣旨の徹底と実現(論説、事例)</p> <p>【連載】◇心と体を一体として捉える「体育科だからできる学び」</p> <p>◇「点」から「つながり」の学びへ デジタル学習基盤が支える主体的な学び</p> <p>◇幼保小の架け橋プログラムの推進 遊びを通じた学びから文字を通して理解する学びへ</p>
中等教育資料 (学事出版)	6月号	<p>【特集】学習指導要領改訂に向けて 各教科等別ワーキンググループにおける審議状況③ [理科、芸術、情報・技術]</p> <p>【連載】◇各教科等の改善/充実の視点</p> <p>◇チーム学校で特色づくり 教員が仕掛ける学校の特色づくり 京都フォレスト科の取組</p> <p>◇個別の教育支援計画の作成・活用と関係機関との連携</p> <p>◇産業教育のページ 高等学校における農業教育</p>
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	6月号	<p>【特集】子どもの半歩先に教える 手づくり算数教材とスモールステップ指導</p> <p>◇つまずきの連鎖を予想して指導法や教材づくりを考える</p> <p>◇とことん生徒と同じ目線で「こうすればわかるよね」を目指したアナログ時計を読む学習</p> <p>◇日常生活に生かす力を育むお金と長さの学習</p> <p>◇算数の扉を開けよう 数の認識から概念の形成へ</p> <p>【連載】◇英語の読み書きにつまずきのある子どもへの指導</p> <p>◇ついつい話したくなるどんどん広げたいコミュニケーションの種</p> <p>◇あったら嬉しい今月のおすそわけ教材 時計の分読みさぼーと教材</p> <p>◇今と未来をつなぐ小学部段階からのキャリア教育 「夢や願い」をもつための素地づくりを丁寧に行う</p> <p>◇通級指導教室の「教科の内容を取り扱った指導」</p>
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	6月号	<p>【特集】自立活動が「好き」を育み「得意」を伸ばす</p> <p>◇[論説] 自立活動のこれまでとこれから</p> <p>◇本人の強みやよさを活かした自立活動</p> <p>◇特性や困難に気づき充実した生活を過ごすための「通級による指導」</p> <p>◇思春期の関わり方の難しさに寄り添う自立活動</p> <p>◇生徒の変わりたいという気持ちを高め、自己肯定感を支える取組</p>

		<p>◇「好き」を育み「得意」を伸ばし、「笑顔」へ導く</p> <p>【連載】◇自立活動の視点で教材・教具を工夫する</p> <p>◇明日から役立つ知識&amp;スキル</p> <p>子どもの実態に応じてタブレット端末を活用できるようになりたい</p> <p>◇やさしく学ぶ自立活動 個別指導とグループあそびの往還がもたらす人間関係の形成 通級指導教室における実践報告</p> <p>◇通常の学級における教育のユニバーサルデザイン</p> <p>中学校のコンサルテーション事例から</p> <p>◇地域の特色を生かした単元をつくる</p> <p>成田空港への校外学習に向けた生活単元学習の実践</p>
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p>	5月号	<p>【特集1】学校図書館の力 連携・協力から見た学校図書館</p> <p>◇司書教諭と学校司書の連携「機能する学校図書館」をめざして</p> <p>◇学校図書館活用は、チーム学校で推進!</p> <p>◇学校と市立図書館をつなぐ学校図書館支援センター</p> <p>◇高校生による近隣小学校での朝の読み聞かせボランティア</p> <p>◇地域の施設と連携 地域連携の授業で「鳥羽うみライブラリー」を創る</p> <p>【特集2】豊かな読書環境の中で生まれる読書感想文</p> <p>◇読み書きのチカラ 子どもたちに一生の財産を</p> <p>◇対話を通してよりよいものを ◇「丁寧な読み」がつなぐ輪</p> <p>◇課題図書を選定について 全国学校図書館協議会課題図書選定委員会</p>
<p>高校教育 (学事出版)</p>	6月号	<p>【特集】オンラインで学ぶ生徒たち</p> <p>◇通信制高校での学びを保障するための取組とその課題</p> <p>◇質の高い日常授業の延長上にあるオンライン授業の実現</p> <p>◇北海道高等学校遠隔授業配信センターの挑戦</p> <p>◇長崎県における遠隔教育のいま</p> <p>◇通信制高校での学び① NHK 学園高校の取組</p> <p>◇通信制高校での学び② クラーク記念国際高校の取組</p>
<p>学校事務 (学事出版)</p>	6月号	<p>【特集】学校事務職員のメンタルヘルスを考える</p> <p>◇見過ごされてきた学校事務職員のメンタルヘルス</p> <p>◇学校事務職員のためのメンタルヘルスケア</p> <p>◇共同学校事務室というセーフティネット</p> <p>◇学校事務のメンタルヘルス 職場での実践事例を踏まえて</p> <p>【連載】◇学校の日常とお金Ⅱ 「やかん」の向こうにあるもの</p> <p>◇学校事務 I C T時短術 今何時間目?システム</p> <p>◇学校と地域を誇りに思える児童の育成</p> <p>◇共同学校事務室を統括する事務職員の定数配置が開始</p> <p>◇全事研人材育成指標モデルの策定に向けて</p>
<p>指導と評価 (日本教育評価研 究会)</p>	6月号	<p>【特集1】学習評価の道しるべ</p> <p>◇次期教育課程における学習評価の論点</p> <p>◇インクルーシブ教育時代における学習集団づくりをふまえた学習評価</p> <p>◇「学習としての評価」をどう構想するか</p> <p>評価をデザインすることは、学びをデザインすること</p> <p>◇デジタル学習基盤で拓かれる学習者主体の学びを支える気づき</p>

教育データの可能性

◇高校の現場から見た大学入試 多枝選択式と記述式の問題を中心に

◇共通テストから見える学習評価の研究動向

【特集2】教育実践に生かすカウンセリングスキル

◇心の基礎（土台）モデルから見る子どもたち

「人間のよき体験」が不十分な子どもへのかかわりを中心に

◇教師のためのアドラー心理学

◇日常の指導に生かす応用行動分析

子どもの「できているところ」に目をむける視点

◇教育実践に生かすブリーフセラピー 解決志向・未来志向の考え方

◇構成的グループエンカウンター

本音と本音のふれあい体験が行動変容を促す

◇不確実な状況にとどまる力

不登校支援におけるネガティブ・ケイパビリティの意義